

諫早市教育委員会議事録  
令和4年第5回（4月定例）

# 令和4年第5回（4月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和4年4月27日（水）  
16時00分～17時10分
- 2 場 所 諫早市役所 8階 8-2会議室
- 3 出席者 教育長 石部 邦昭  
委 員 宮本 峻光  
委 員 原田 裕介  
委 員 山口 秀雄  
委 員 中野 高子
- 4 会議に出席した事務職員  
教育次長 後田 一光  
教育総務課長 江頭 大一  
学校教育課長 田上 顕二  
生涯学習課長 諸岡 昌史
- 5 議題  
報告第4号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委  
嘱について）  
議案第9号 諫早市教育支援委員会委員の委嘱について  
議案第10号 諫早市少年センター運営協議会委員の委嘱につい  
て

## 議事録署名人の指名

山口委員と中野委員を議事録署名人に指名

## 議事録作成者の指名

松尾教育総務課長補佐を議事録作成者に指名

## 教育長職務代理者の指定

原田委員を教育長職務代理者に指定

## 議事の非公開

全議題人事案件であるため非公開

## 議事録の承認

令和4年第4回（3月定例）教育委員会の議事録について  
質問・意見なし  
原案どおり可決

## 教育長の報告の要旨

### 《教育長の報告》

教育委員会の3月、4月の動きについて

3月の終わりから4月にかけての報告を述べさせていただきます。

人事異動等がある。まず、教育委員会であるが、これは4月1日現在で書いている。

2番目。教育委員会の幹部職員、4月1日付の人事異動があるので、課長等をそこに記している。教育次長が後田一光さん、学校教育課長田上顕二さん、教育総務課参事兼学校改革準備室長池正信さん、それから中央公民館長甲野正さんである。

4月1日に教育委員会のミーティングを、幹部職員を集めて行い、私の方から次のような話をした。

長崎県で一番活気に満ちた教育委員会にしましょう。現状と課題を掌握して、スピード感を持って解決していく。そのためには、報告・連絡・相談を密にしましょう。

現場主義。学校、図書館、公民館の要望や困りごとを掌握して、現場と一体となって解決を図っていきましょう。定例教育委員会やこれは臨時も含むが、市議会には全力投球をしましょう。取り組みや方向性を理解していただく機会にしたい。

教育委員会内部では、働きやすい職場ということで、メリハリをつけた勤務、明るい雰囲気健康管理もしていきましょう。良き家庭人であり、地域行事にも参加できるような、ゆとりある生活をしましょう。

それから、人材育成について、幹部職員が中堅、若手職員を育てるという立場におられる自覚をお願いします。女性管理職登用も推進しましょう、ということをお伝えした。

次に、諫早市立小中学校の校長・園長一覧であるが、44校の校長・園長ということになる。丸印が新任、四角印が転任ということになっている。

次に、新型コロナウイルス感染状況であるが、今日最後に宮本委員からいろんな報告をいただくが、今現在どのようなになっているかをお知らせしたい。最近は増加傾向にあり、学級閉鎖をしている学校もある。現在、諫早市は県のレベル2-1というところであるが、もう一度引き締めていきたい。毎朝の検温、給食での黙食、手洗い、消毒、換気、マスクの着用というようなこと、このことを校長会、教頭会で確認を行った。

昨日の状況はどうだったかっというと、陽性者は29人、小学校14名、中学校15名と、学級閉鎖は小学校が1校御館山小学校、中学校が長田中、小長井中2校。教職員の陽性者はいない。

それから、学校教職員について新規採用教職員の辞令伝達式が4月4日にあった。初任者はどういう内訳になっているかということ、教諭は小学校が21名、中学校が8名、養護教諭は小学校が1名、栄養教諭は中学校が1名、事務職員は小学校1名、中学校1名、総計33名。非常に多い人数が採用されている。

25日には、諫早・大村地区の初任者研修があった。教員だけであるが、諫早地区が24名、大村地区が24名、同じ数で合計48名であった。諫早市役所の会議室で開催されたので、私の方から、「失敗を恐れずに、真摯に子供たちに向き合ってください」という話をした。

4番目、不登校児童生徒の増加に対してということ、じわじわと不登校の子供たちが増えている。これは全国的にという傾向もあるし長崎県全体も増えているが、諫早市においても少しずつ増えている。どうすればいいのかということであるが、一層各学校の教育活動を充実させるということ、学校の魅力度をアップすること、一人一人を大切にされた教育を徹底すること、教職員の働き方改革を行うが、その働き方改革を実施した上で、できた時間を子供たちに向けてということだろう思う。

悩み相談等について、これは他の市に比べても結構厚く手立てをしているのではないかと思うが、担任・養護教諭の他に、全小学校に心のケア相談員、全中学校に心の教室相談員、少年センターに5名の少年相談員。また、県配置で6小学校と12中学校にスクールカウンセラー、少年センターにスクールソーシャルワーカーが勤務している。各学校と少年センターが一層連携を密にしながら、不登校の子供たちに対して、厚い支援をしていきたい。

学校教育の重点政策は4本柱、豊かな人間教育、確かな学力の向上、ICT教育の推進、働き方改革であり、特に働き方改革は「諫早版働き方改革」ということにしている。

ICT教育については、私が考えているのは、デジタル教科書はすごく役立つということである。先生が持っている教科書を大型提示装置に映し出して授業をするのだが、いろいろなことができる。英語の文章でいうと、ネイティブスピーカーの声が出る。そして何回も繰り返すこともできる。そういう利点がある。

それから、一番私が驚いたのは、デジタル教科書では図形を取り出すことができる。これとこれは比べてみようという時、例えば三

角形を取り出して相似だということができる。これは役立つし是非使ってほしいということで、昨年度は国語と算数、数学、それから英語を入れた。そして、今年はそれに理科、社会を入れ5科目導入する。これは他市に先駆けているのではないか思っている。予算要求を行い導入してもらった。

6月以降ぐらいから家庭へタブレットを持ち帰り、家庭での利活用を考えている。ただタブレットやパソコンがある家庭は持ち帰りをせずに、自分の家のタブレット等でクラウド上に課題を取りに行くことができる。一番問題になるのは、経済的に厳しい家庭で、インターネット環境がない要保護世帯、準要保護世帯には通信費等の援助を行い、ルーターの貸し出しを行うよう手立てをしている。明日校長会があるのだが、ロードマップを示して学校の取り組みをお願いしたいという風に思っている。

また、働き方改革については待ったなしで、「実行性のある働き方改革をしてください。掛け声だけじゃ駄目ですよ」と言っている。多分これは全国的な波に乗っているのでは、実行出来るのではないかと思うが、私が一つ心配しているのは、中学校の部活動のところである。

昨日、今日の新聞等を見ると、部活動はだんだん地域に移行していくという動きがある。そのように理解はしているが、ただやはり、教職員のやりがいとか、部活動にかける思いがある人は結構いらっしゃる。そして部活動も教育の一環といったようなところがあり、地域に移行してしまうと、結局、勝つための無理な指導等がないようにしないといけないとか、試験前は少し押さえて活動するようとか、いろいろ配慮がいるのではないかというふうに思う。このところが今からの課題で、日本全国の中学校のあり方が問われていくのではないか。どうするのかということが大きな課題になる。

学校改革準備室が発足して研究を重ねている。室長、専門員、専門員は退職校長であるが、それから職員の3人体制で、適正規模・適正配置を含めて、今後の教育環境をどう整えていくのかを研究している。じっくりと検証を行う。結論を出すまでは、いろいろな角度から研究し、俯瞰的、多角的にいきたいと思っている。決まったらスピード感を持って行っていくことになろうかと思っている。

次に、ALTが9人になった。21日にミランダというALTが入ったので9人である。今までで一番多いALTになる。9人みな非常にやる気もあり、辞令交付式の時に全員集まったので激励を行った。

学校給食の公会計化の動きであるが、これは働き方改革に直結す

るが、令和5年度から公会計化を実施することとして今準備を進めている。効果としては、校長を含めた教職員の負担軽減、保護者の利便性の向上、そういうことが言えるのではないかと考えている。

いろいろな課題等も、他の自治体で既に実施しているところがあり、課題も見ることができるので、一つずつ潰しながら来年に向けて準備を進めていきたいと思う。

伊東静雄の菜の花忌、偲ぶ会があったのだが、活水女子大学名誉教授の田中俊廣さんが講演をされた。非常に面白い講演であった。

それから、第1回長崎県都市教育長会協議会が、4月15日ホテルセントヒル長崎で開催された。令和4年度の役員や予算決算が審議され、長崎県市町村教育委員会連絡協議会小委員会、会長は原田委員であるが、県央から私が委員に選出された。なお、研究協議では、校則とか制服の見直しのことが語られた。また、GIGAスクール、給食費公会計化など、どこも同じようなことをしており、非常に参考になるし課題も共有できたかなと思う。

なお、そこで全国都市教育協議会の報告とか、義務教育課から主要政策、それから長崎大学から教職大学院の説明があった。

令和4年度長崎県市町村教育委員会連絡協議会、会長は原田委員であるが、理事会が4月20日WEB会議であり、原田会長の挨拶や常任理事の紹介、令和3年度の会務報告、収支決算及び監査報告、令和4年度役員案では諫早の常任理事に私が、理事に山口委員が、それから令和4年度事業計画案、歳入歳出予算案が了承された。最終的に一番重要な会議は総会であるが、5月17日に書面決議ということで予定をされている。

以上が私の報告である。

## 《教育長の報告に対する質問・意見》

### [委員]

4点であるがまず1つ目、1ページ目の1番の括弧2番のところ、公民館の要望や困りごとを掌握してという話があったが、最近子供たち中学生、高校生も勉強するために集っていたりしているし、公的な子供食堂のような役割も果たしていると思う。そのことによって子供の現状が把握できる場所にもなっているかと思うので、是非、ここに挙げられているように、要望であるとか備品であるとか、そういうものは職員に挙げてもらいたい。

2点目であるが、2ページ目の4番。今までは、学校に困りごとがあって来ない不登校の子供たちが多かったのが、やはりコロナ渦を経て積極的不登校とあって、特に学校に困りごとはないのだけ

ども、あえて登校しないで家を選ぼうという明るい不登校とか言うのだが、そういう子供たちが増えている。従って、どこまでそれを認めていくのかとか、そういうタイプの子供の対策をどういうふうにしていくのか、という視点として考えていけばいいのかなと思った。

3点目であるが、地域の部活動に関して、国の方でもニュースであったように、地域におろしていこうという話があったが、例えば自分の地域を見ても、競技を抱えきれぬ人材がいるのかがなかなか難しいという点が1点と、あとは子供が柔道している関係で考えると、顧問の先生がしっかりいるところは校内で歓迎してくれたりして、結構マイナーな競技とかも部員が増えたりするのだが、やはり地域に根付くってなるとなかなか難しく、子供たちが競技に触れるきっかけというのがなかったり、声をかけてもらうきっかけがなかったりして、その部活動自体が縮小化していったりするのので、学校の競技数が少なくなっていくという懸念もあるのが3点目である。

最後であるが、これはお願いになるのだが、例えば4月になってから、働き方改革に関するプリントが全世帯に配られたりとか、スクールネットのメールが文書を添付できるものに変更したりとか、そういう内容のプリントが来ており、そうなのだと思いますが、そういう内容のプリントが来ており、そうなのだと思いますが、保護者の方からこれどうなっているのという話があったりするのので、例えばLINEでも丈夫なので、こういうプリントを今度、全世帯に保護者に配りますよとか、そういうことを先に周知してもらえるとありがたいかなと思う

[学校教育課長]

プリント等については周知したいと思う。

[教育長]

部活動のことであるが、高校が結局どうなるのかという問題がある。中学校まではできても高校が多分難しいと思う。諫早青少年自然の家の次長に今度なられたのが、今まで高体連会長をしていた長崎南の校長だった人であるが、今日その人が来られて話をしたが、結局、高校野球は学校対抗である。これは学校が離さないのではないかと、私立高校が絶対反対するだろうと。地域とか何とかいってたら存在価値がなくなる可能性がある。だから、中学校でも私立中学校も都会は多い。非常に難しい問題であると思う。学校教育の一環ということはあるのではないかと。ただ、人口減少により少なくなっているのでもチームが組めないこともある。

[学校教育課長]

いくつかの小さな小規模の学校の子供たちを集めて、1つのチームとするという考え方が今後出てくると思っている。私は前任が対馬だったのだが、子供たちが学校に希望するスポーツがないために、大規模なところに移らないといけないと考えてしまうと、その地域が廃れていってしまうので、その競技をする子供たちは、いろいろな学校から集まってするというような考え方が今後出てくるのかもしれないと思う。

[委員]

部活のことについてであるが、今、コーチの専門性というのが言われており、コーチもオリンピックから本当に小さな学校まで、これに出るにはこの資格を持っていないといけないとか、だけど全国大会にはこれ以上の資格があるので、取りに行っている。

長崎県は取る人が少ない、なぜかというところ、学校現場でコーチングを勉強しに行くのに、積極的には出してもらえない。しかし、スポーツは教育の一環だと思うので、是非意欲がある人は学校現場で積極的に応援してもらって、きちんとしたものを学んで身につけて、そして子供たちに還元すると非常に良いと思う。そうすると、またその地域の子供たちが、あの先生に習おうと思って学校の垣根を越えて集まってくる。必ずしも小規模のところだけではなくて、あの先生、あのコーチに習いたいということが、これから先あっても良いと思う。今バスケットの中体連では学校単位の部活動だけではなくて、地域でクラブを作っても参加可能だということを打ち出してしている。是非そういうことを積極的にしていただければと思う。

[生涯学習課長]

委員の最初のご質問の公民館のことについて、4月に入り新しく来た次長と一緒に、市内15公民館、全ての公民館の現場を一緒に回ったところ、かなり老朽化しているところもあり、公民館利用者の方が利用しやすいよう、修繕などのご意見も伺いながら対応していきたいと思っている。

[教育長]

いろいろな公民館の声も、聞いていく。

[委員]

A L Tのところ、人数が増えてすごいと思うが、各学校において英検、英語検定の推進ということが非常にバラバラなんじゃないかなと思う。非常に進めているところはあるが、全く推進していないところもある。以前、教育委員の研修で松戸に行った時に、松戸市は中学を卒業するまでに英検3級を60%も取っているそうであ

る。ところが松戸が目指しているのは浦和市だったらしくて、浦和は7割取っているらしい。それが日本でトップランクらしいが、やはり市挙げて英検に取り組んでいるところがある。学校によって違うところがあるようなので、9人のALTを是非活用してもらおうようお願いしたいと思う。

[教育長]

ALTも一生懸命頑張ってくれており、学校にもそのように伝えたい。

[委員]

保育園の保護者からであるが、今年6月以降にタブレットを持ち帰りになると思うが、やはり心配しているのは、小さい子が持って帰って、わざとではないのであろうが壊してしまった時、前は不可抗力であれば大丈夫であったが、今も変わらずそれは大丈夫なのか。

[教育長]

例えば風呂に入ってそこで使うとか、わざと落としたとかいう場合は弁償になるが、偶然ぶつかったとかそういう場合は適用外ということになる。あまり厳しくすると持って帰ることが怖くなってしまふ。

[委員]

うちは持って帰らないという人がいる。特に小さい子がそうである。やはり活用するのはいいと思うけれども。

[教育長]

学校で十分指導もするし、また、低学年はそう頻繁には持って帰らないようにという感じはある。

[委員]

タブレットを使った宿題とか、そういうのも出てくるようになるのだろうか。そしたら、やはり持って帰ることになる。そのように伝えておく。わざとじゃないなら大丈夫ということであれば、安心すると思う。

[教育長]

明日、実は校長会で詳しく説明する。校長に対して、持ち帰りのルールとか、そういうことも含めて。

[委員]

先ほどの質問に関連であるが、田上課長は対馬から来られたと思うが、対馬は持ち帰りの最先端の市だと思う。確か中学校以上は去年まで持ち帰っていたかと思うが、去年までの現状でいいので、対馬市でのいろいろ起こった問題であるとか、小学生が去年までなぜ持ち帰らなかったのかとか、今年度からどうする予定なのかとか、

参考までに聞かせてほしいと思う。

[学校教育課長]

対馬であるが、昨年度でもう小学校にもおそらく全部行き渡っていたかと思う。タブレットの持ち帰りは学校の単位で必要なときに持ち帰るということをしながら、諫早市と同じように故意でなければ修理は市で行うということとしている。問題というのは、やはり長い時間ずっとする子がいるので親が心配して、もう少し時間を短くということがあるが、それも家庭内でもしっかりこういうふうルールを持ってしてくださいというような対応で、それほど数が多いことではないと思う。

ソフトには宿題のソフトやドリルがいっぱいできるソフトがあり、特に英検の勉強、漢検の勉強のドリルもできるようなソフトが入っていると、私がいた学校でも英検とか漢検とかに挑戦しようとなった際に、挑戦する子供たちが増えたという経緯があった。

《学校教育課長の報告》

- 1 令和4年度諫早市学級編成児童生徒数について
- 2 令和4年度諫早市小学校・中学校運動会実施予定一覧表について
- 3 令和4年度新任校長校訪問の計画について

《学校教育課長の報告に対する質問・意見》

質問・意見なし

《非公開議事》

報告第4号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導委員の委嘱について）

生涯学習課長 説明

削除

了承

議案第9号、諫早市教育支援委員会委員の委嘱について

学校教育課長 説明

削除

原案可決

議案第10号 諫早市少年センター運営協議会委員の委嘱について  
生涯学習課長 説明  
削除  
原案可決

## その他

教育総務課長

5月定例会教育委員会の日程、長崎県市町村教育委員会連絡協議会  
総会及び令和4年度長崎県市町村教育委員会合同研修会について説明

宮本委員

諫早市小・中学生の新型コロナウイルス感染症について説明

17時10分閉会